さんくす

発　行：笠懸町第三区広報委員会
発行所：笠懸町第三区公民館
http://sannkusu-kasakake.com
sannkusu.kasakake@gmail.com

第19号
2018/12/01

一・二・三区で荒神山の柴刈り

11月10日（土）午前9時より、一区、二区、三区青少年健全育成区民会議、農地と水・阿左美地域環境保全協議会主催の荒神山柴刈り作戦が実施されました。

参加団体は一区、二区、三区の行政区や各種団体役員、交通指導員（一区）、笠懸東小PTA，笠懸東小教職員、阿左美沼土地改良区役員、荒神山友の会など105人が参加し、荒神山登山道やカタクリ群生地の下草刈りを実施しました(写真)。

前日の大雨で斜面が濡れていて滑りやすく、参加者は足元を取られる場面もありましたが、季節外れの暖かい陽気に汗ばみながらの作業でしたが、和気あいあいと交流しながら約90分ほどで無事終了しました。

この行事は森林保全や鳥獣害対策と共に、子ども達が四季折々の自然を学び、情操を育む場として、また地域の環境や良好な景観を守る取組みとして今後も継続してほしいものです。作業後は校庭でPTA役員の手作りけんちんうどんや味噌おでんなどを頂き解散しました。

東小学校で稲刈り

10月23日（火）、曇天の少し気温が低い中、午後2時から約2時間にわたり、東小学校近くの水田(4アール)で、東小5年生93人と、先生や保護者、地域協力者など約20人が参加して、モチ米の稲刈りが行なわれました(写真)。

稲の栽培や収穫は5年生の総合学習としておこなっているものです。5・6時間目が作業に当てられました。

順調に育った稲を皆で協力して手刈りしたのち、結束して天日干しまでの作業を行いました。バインダーによる機械刈り結束の実技もおこなわれ、そのスピードに驚きの声も聞かれました。

散歩道（６）おうかん

かつて「おうかん」と呼ばれた道路がある。漢字だと「往還」と推察される。多くの人が行き来する幹線道路ということになる。

そこで、今昔マップで1,928～1,945年頃とされる地図を見てみよう。左上の岩宿交差点と下の中央部分が阿左美十字路でその間の道路が現在と大きく異なることに気づく。

大間々方面から薮塚に向かう場合、阿左美上原の集落に入り100メートルほどで右折し、手繰り坂を抜けると横町(現在の二区)に至る。人家も無く、墓地を通過する物寂しいルートだ。

一方で上原の集落をそのまま進み、南光寺付近から横町に抜けるルートも確認できる。現在の三区公民館に接する道路こそが「おうかん」に他ならない。もう一つ興味深いのは手繰り坂から現在の森田石油付近への道路が無いことで、県道78号線がバイパスの役目を果たすまでは、「おうかん」が人が行き来する主要道路だったことが推察される。

この地図は、時系列地形図閲覧サイト「今昔マップ on the web」((C)谷謙二)により作成したものである。

五色沼、末廣酒造、会津鶴ヶ城を見学、区民ハイキング

11月11日(日)、雲一つない快晴のなか、笠懸第三区の区民ハイキングが開催され、50人が参加しました。

五色沼では、毘沙門沼・赤沼・みどろ沼・竜沼・弁天沼・瑠璃沼・青沼・柳沼などを散策しました。それぞれの沼がエメラルドグリーンや黒など、さまざまな色を見せていて神秘的でした(写真)。ハイキングの終点は桧原湖畔の猫魔離宮で和会席昼膳をいただきました。その後、会津の末廣酒造嘉永蔵で酒蔵の見学と利き酒をしましたが、大吟醸は高価なだけあって、味がまろやかで風味もよかったです。

会津鶴ケ城の天守閣は展望スペースとなっていて、会津の町並みが一望できるほか、幕末から明治の動乱期の会津戦争の際に、白虎隊の少年達が自刃した飯森山も見えて、とても感慨深いものがありました。景色と食を楽しみ、歴史に触れるハイキングとなりました。体育協会主催のハイキングは毎年行われています。

敬老行事
詐欺防止の寸劇も

寸劇を演じる役員

10月14日(日)三区公民館で行政区主催による75歳以上の方を対象とした敬老祝賀会が開催され76人が参加しました。

水出区長から「参加した皆様が最後まで楽しんでいただきたい」とお祝いの挨拶があり、来賓の須藤市長、柳内社会福祉協議会長、今泉県議会議員の3氏からは「日頃から沢山楽しみ、沢山笑って、沢山会話をして頂く事が健康で長生きの源であります」などお祝いの言葉が贈られました。

藤生吉雄親老会長の乾杯で始まり、手作りのけんちんうどんや野菜サラダなどがふるまわれ、皆さん美味しそうに頂いていました。

また、ひまわりコーラスの合唱、子ども会の八木節、みずほ会の舞踊のほか、民生委員のお年寄りを狙った詐欺行為を寸劇で分かり易く紹介するなど皆さんとても楽しんでいました。

最後に恒例の抽選会では、参加者全員に景品が手渡されて楽しいひと時が終了となりました。写真:詐欺防止の寸劇を演じる役員。

高齢者交通安全教室開催

11月1日(木)、午後2時から、三区公民館において交通安全会と親老会の共催による高齢者交通安全教室が行われ、61人が参加しました。

桐生警察の交通課によるユーモアを交えての講習の内容は、歩行に際しての注意でした(写真)。このほか、機械による適性検査も行われました。

夜間の反射材の利用や道路横断の注意点に、参加者からは「大いに参考になる」という声が聞かれました。

やよいひめ　誕生物語　(3)
イイチゴの品種改良の難しさと楽しさ －1

カリフォルニア大学の教授からのアドバイスのお陰で、迷わず自信を持って改良に取り組むことができた。そして、県としてはイチゴ第1号となる「とねほっぺ」を平成11年に品種登録した。

とねほっぺは極大果でイチゴらしい円錐形をした美しい品種であった(写真)。農水省の登録審査の際、審査官から、「この品種を選抜できた時、やったと思ったでしょう」と声をかけられた。しかし、糖度が少し低かったからか、審査官も試食した後には何も言わなくなった。

市場関係者からは実績検討会の折、「人をだますようなイチゴをつくるな」とか「群馬の恥だ」と罵声を浴びせられたものである。

イチゴの品種改良のおもしろいところは、交配した結果が一年目である程度わかるところである。そのため、とねほっぺの長所を次の品種に生かせばいいと考え、そのような声をあまり気にしていなかった。そして、とねほっぺの大果性、果皮の丈夫さ、日持ち性はやよいひめにしっかりと受け継がれた。(続く)

子ども会球技大会、6位健闘

10月14日(日)に笠懸中学校で、第13回みどり市子ども会球技大会が開催されました。三区からはドッジボール高学年の部と二区・三区合同チームとして低学年の部に合計12名が出場しました。

笠懸・大間々地区から8チームが出場し、予選A・Bリーグが行われ上位2チームが決勝トーナメントに進出する形式でした。三区高学年は10人対10人から始まる試合ですが、今年度はメンバーが1人少なく不利な状況での試合でした。

接戦の末、惜しくも予選通過とならず6位の結果でしたが、最後まで諦めずプレーしていました。低学年の部は3人が二区と合同チームとして参加し、準優勝となりました。

三区チームとして出場する今年度の大会は最後でしたが、来年4月からは新チーム体制で多くの大会に出場します。6年生が卒業すると10人になってしまうそうです。育成会役員からも「多くの子ども達に参加してほしい」と話していました。

息を合わせて頑張りました

バス旅行でバター作り、育成会

9月8日(土) 笠懸町第三区子ども育成会主催による、第8回目となる日帰りバス行事が行われました。

この行事は保護者同伴の参加形式で、学習内容を取り入れながら、子どもと同時に親の交流を深めることを目的としています。

真剣に話を聞く子どもたち

今年度は子ども51名、大人35名　合計86名が参加しました。

栃木県にあるトレジャーストーンパークで宝石探し体験、りんどう湖レイクビューではバター作りの体験をしました。岩下の新生姜ミュージアムを見学しました。宝探し体験では目を輝かせ子どもも大人も夢中で宝石を探してしました。

バター作り体験では、みな真剣に説明を聞き、一生懸命作ったバターを味見すると「甘～い！」と目を丸くして驚いていました。塩を入れてパンにぬって食べてみると「わ～　おいしい！！」と歓声、笑顔が溢れました。

新生姜ミュージアムでは生姜を使った色々なメニューを学びました。育成会役員は「あいにくの雨模様となってしまいましたが、様々な発見や体験をして、とても楽しそうで、参加者の喜ぶ姿をみることが出来て良かった」と話していました。

草木湖まつりで子ども八木節が熱演

8月15日(水)に、みどり市東町で行われた草木湖まつりに子ども八木節が出演し、大きな拍手を受けていました。

開会式に続き、特設ステージの幕開けを務めたのが、子ども八木節のメンバー14人と指導者の4人。大人顔負けの威勢の良い節回しで会場を魅了しました。演奏の最後に八木節を披露できたことや、マスのつかみ取りや草木ダムの見学が出来たことなどを受けて「貴重な体験をすることが出来てありがとうございました」と挨拶すると会場から大きな拍手が上がりました。

子ども八木節に大きな拍手が送られました

東町の区町会長は「良い演奏でまつりを盛り上げて頂きありがたい。来年以降も続けていけたらいいですね」と話していました。

子ども八木節の出演が実現した背景は、区長会で「笠懸・大間々・東の3地域が交流し、みどり市の一体感をより深めるためには交流や相互理解が大切」と話されていました。交流の先駆けとして「子ども八木節が東地域の行事に出演出来ないか」と、当時の笠懸区長会長が打診し、東町の区長会長や、草木湖まつり実行委員会が快諾し実現に至りました。

子ども八木節の指導者として参加した赤石晋一さんは「時間をいただければ、まつり会場に来た東地域の子どもたちもステージにあげて一緒に演奏が出来ます。来年それが実現したらもっと良いね」と話していました。

地域の話題（仲間たち）マルア出荷組合

10月16日（火）、高崎市多目的アリーナ・ニューサンピアにおいて種苗会社4社共催によるお客様感謝祭が開催され、地元三区の阿左美園芸出荷組合（マルア出荷組合〇の中にア）有志9人が視察参加しました。

会場では種苗、農薬、肥料、資材等のメーカー約100社が出展し来場者に説明や商談などをしていました。参加した組合員は資料を集めたり、質問したりと今後の営農に役に立つ最新の情報が得られ有意義な視察でしたと話していました。

笠懸町内には約18の出荷組合があります。マルア出荷組合は組合員数23名と町内では最大手の組合で大玉トマト、ミニトマト、ナス、キュウリ、ホウレンソウ、ブロッコリーなどを主にJAを通じて全国に出荷しています。

説明に耳を傾ける参加者

今年度特別区費、36事業所

三区やその近郊で事業を営む36事業所から、特別区費を戴きました。集まったお金は、区の運営に活用されます。事業所は以下のとおり(順不同)

(有)サンビーシー群馬工場／ローソン笠懸阿左美店／岩瀬産業(株)桐生機工営業所／テクノオリジン(株)／忠兵衛茶屋(有)／(株)創健社／はしづめ歯科医院／窪田縫製(有)／アライサンズ(有)笠懸第一工場／新井木工(有)笠懸工場／業務スーパーパスポート笠懸／小室歯科クリニック／くりた医院／エンドー薬局あざみ店／メンズプラザAOKI笠懸店／セブンイレブン桐生バイパス店／沼田屋タクシー(株)／三恩会東邦病院／(株)河内種苗店／スズキ自販群馬(株)桐生営業所／稲川工業(有) ／関東マツダ桐生笠懸店／志なの屋／桐生卸売市場(株)／あすからいふ倶楽部／上毛バナナセンター(有)加工所／かさかけメモリードホール／桂建設株式会社／澤アパート／あざみん家／東武観光(株)北関東営業所／タックス桐生／ビックマーチ桐生店／(株)東邦薬品／萬家

様々な花で彩られる阿左美沼周辺

阿左美沼水源池の植栽

11月10日（土）、阿左美沼土地改良区役員が管理している水源池の花を模様替えしました。春から秋にかけては真っ赤なサルビアと色とりどりの百日草でした。今回は花の少ない冬季の景観に役立てばと、赤と白色の葉牡丹、青と黄色のパンジーを冬春バージョンとして植込みました。

小沼周辺の植栽

阿左美小沼の西側道路沿いに農地と水. 阿左美地域環境保全協議会が冬季の花小道として景観維持に役立てようと寒さに強いパンジー、ビオラ、スノーポールを植込みました。

ちょっとピンぼけ

阿左美バイパスの工事が着々と進んでいます。10年ほど前、通学区を中心に「東小通学路の安全を考える会」を立ち上げ、阿左美バイパスの計画を念頭に通学路の安全を協議し、市と懇談会が開かれました。

東小の通学路は学び橋以外は、東武線をくぐる阿左美アンダーと、旧小林商店前の狭い踏切が主な通学路で、子どもが安全に通学できるだけでなく地域の発展のためにも道路が必要だということが確認されました。また、バイパスが出来るにあたり、生活道路の車の流れが一変することも懸念されたのです。

懇談会後、当時の教育長は「東小周辺道路の整備を優先する」と話し、「高架で線路を越える道路は出来ないか」と真剣に考える議員もいました。

それから10年、バイパスの設計にこれらの改善策が盛り込まれることを期待したのですが果たしてどうでしょう。市の建設課に聞いても、懇談会の内容は引き継がれていませんでした。このほか、南中学校の南側に隣接する道路は、幹線にもかかわらず歩道がありません。今年2月にはこれらの道路整備を望む要望書が、当時の石原市長宛に提出されています。今度こそ引き継がれて欲しいものです。